

第 75 回評価監視委員会の開催について

第 75 回一般財団法人建設物価調査会評価監視委員会が開催されましたので、議事概要について、お知らせいたします。

開催日時	2025 年 6 月 25 日（水）14：00～16：00	
開催場所	一般財団法人建設物価調査会 会議室	
出席委員 （五十音順）	高橋省三（委員長（一般社団法人自動車公正取引協議会 参与 名古屋経済大学大学院法学研究科 講師 [元公正取引委員会 近畿中国四国事務所長]）） 鵜飼 誠（元会計検査院 第 1 局長） 佐藤 淳（東邦監査法人 代表社員、公認会計士） 八尋和郎（株式会社 THINK ZERO 代表取締役）	
当会	共通資材調査部 小林 法雅、南 昌宏、酒井 剛、筒井 俊輔 第二土木調査部 上田 浩嗣、沖田 智紀、遠田 直人、宇高 明日香 調査統括部 大澤 勝、平野 光芳 監査審査室 黒澤 昭浩、勝井 治	
審議案件	案件	備考
	（定期調査） 低炭素（中温化）アスファルト混合物（フォームド発生装置使用） [東京 14 区]	「Web 建設物価」2025 年 4 月号の掲載価格について、調査結果記録票、調査結果集計表等に基づき、調査方法、調査プロセス等を説明
	（受託調査） ポンプゲート	受託調査について、調査結果集計表、調査報告書等に基づき、調査方法、調査プロセス等を説明
委員からの主な意見・質問 それに対する調査会からの回答等	別紙のとおり	
委員会による指摘 （不適切な点又は改善すべき点）	なし	

意見・質問	説明・回答
1. 定期調査について 低炭素（中温化）アスファルト混合物（フォームド発生装置使用）[東京 14 区] ○Web 建設物価のみに掲載している理由は何か。 ○通常のアスファルト混合物と比較して、耐久性で劣ることはないか。 ○調査対象者の選定において、販売店が少ない理由は何か。 ○通常のアスファルト混合物に対して価格が割高となる理由は何か。 ○割高な低炭素合材が公共工事で使用される理由は何か。 ○地域間格差が生じる理由は何か。	○東京都以外における流通量が少ない資材であるため、Web 建設物価のみに掲載している。 ○耐久性で劣ることはない。 ○埋設工事向けの小口取引が中心の販売店が多く、Web 建設物価掲載条件の取引数量である大口取引を行っている販売店が少ないためである。 ○フォームド発生装置の導入に必要な設備投資の費用が反映され、割高となっている。 ○国を始めとする発注者が取り組んでいる公共工事における CO2 排出量削減に寄与する資材であると認識され、使用されている。 ○各地区に低炭素合材を供給できるメーカーのプラントからの輸送距離、販売姿勢や使用材料（骨材等）の価格差により生じる。

意見・質問	説明・回答
2. 受託調査について ポンプゲート ○工事発注に際しては、台風など自然災害における被害額といった視点も反映されたのか。 ○更新工事を対象とした調査か。 ○「見積価格」「実勢価格」の違いは何か。 ○過去類似報告との比較検証は、どの時点まで対象としているのか。 ○価格決定において、「ゲート部」など各部単位での安価採用はしないのか。 ○施工業者は、メーカーに確認して見積価格を算出するのか。	○発注者判断であり、詳細は把握していない。 ○新設工事を対象としている。 ○「見積価格」は調査対象者の希望価格、「実勢価格」は「見積価格」から値引き後の価格である。 ○市況動向を踏まえ、可能な範囲で報告時期が近接した過去類似報告を比較対象としている。 ○各部セットで販売されるといった取引実態をヒアリングで確認し、安価採用はしていない。 ○ケースバイケースである。
3. 次回開催日について ○次回評価監視委員会は、2025 年 10 月に開催予定。	